

Bill Andrews, Ph.D.

ビル・アンドリュース博士

来日記念講演

2016年10月5日(水) 14:00 ~

「世界の最先端老化治療について」

老化は病気であり、治療することができる

年齢による衰えは、人間の宿命であり、自然の摂理だと長い間思われてきました。

しかし、私は断言します。“老化が治療できる”ということ。その鍵を握るのが「テロメア」です。

「テロメア」の短縮化が心臓病や癌、アルツハイマー病など様々な病気に関連しており、日本は超高齢社会に突入し、世界に先駆け早急に対処することがグローバル・スタンダードとなるでしょう。

本講演会を通じて、私の研究成果を日本の医師の方々をはじめ、各国の医師や医療関連従事者とともに情報共有して、世界中の人々が健康で長生き出来る社会を創造していくことが、私の使命だと思っています。



ビル・アンドリュース博士 (William Henry “Bill” Andrews, Ph. D.)

博士は、バイオテクノロジー産業の分野に30年以上、身を置き、特にここ19年ほどは“ヒト細胞におけるテロメア短縮”へ介入することにより人間の寿命を延長する方法を探索することに焦点を当てている。

博士は、1981年にジョージア大学にて分子および集団遺伝学の分野で博士号を取得し、その後は Armos 社および Codon 社にて上級研究員、Codon 社およびジェロン (Geron) 社にて分子生物学部門ディレクター、そして EOS Biosciences では技術開発部門のディレクターを歴任。ネバダ州リノ市のバイオテクノロジー企業「Sierra Sciences, LLC」の創設者であり、現在、その社長および最高経営責任者を併任。

Sierra Sciences 社では、ヒト細胞の内因性テロメラーゼの発現を一過性に誘導する薬物の発見に専ら取り組んでおり、既にそのような薬物を30種以上同定し、現在は、それらの作用機序の解明にも取り組んでいる。

ジェロン社での分子生物学部門ディレクター在任時に博士は、他の共同研究者らと共に“ヒトテロメラーゼ”のRNAおよびタンパク質両方の構成成分の発見に重要な貢献をし、1997年には本研究に対して米国の「その年の著名な国内発明家・発案者 (National Inventor of the Year)」として第2位を受賞。現在では、TAM-818などテロメラーゼに関する【43】もの米国発行の特許に発案者として、その名前を連ねている。

会 場：日本科学未来館 7F 未来館ホール (東京都江東区青海 2-3-6)

参 加 費：無料 (*ご招待のお客様のみとなっております)

定 員：300名

お問合せ：info@defytime.jp



主 催：  一般社団法人テロメア最先端医療医学学会

共 催：一般社団法人 DOCTORSCLUB ASSOCIATION defytime Science Japan 株式会社
Sierra Sciences, LLC (アメリカ) defytime Science Ltd (ニュージーランド)

後 援：一般社団法人先端医療医薬介護支援機構 一般社団法人国際リンパ療法医学学会 一般社団法人国際毛髪研究医学学会
一般社団法人日本コラーゲン医学学会 医科歯科連携診療普及協会 臨床分子栄養学医学研究会
クラブ・コンシェルジュ株式会社 株式会社ヌック・インターナショナル